



看護部通信

2025年11月

- ① 今月の院内研修
- ② 倫理的感受性の up



① 今月の院内研修

今月は看護部長が講師役となりe-ラーニングで「当たり前を見つめ直す身体拘束・行動制限」の題で行動制限最小化に関して研修を受けました。

スリーロック(=フィジカルロック・ドラッグロック・スピーチロック)を行わないケアを目指することで、患者様の人权・意思を尊重し患者様との信頼関係を構築することを大切にしていきたいと思います。

② 倫理的感受性の up

日本精神科看護協会／倫理綱領より

5. 自己管理

精神科看護職は、看護を提供するうえで必要な自分自身の体調管理を行い、自己の意思で感情、思考、行動を制御できる状態を保つよう努力する。

業務も多忙で、対人援助職として精神的なストレスも多い看護職ですが、患者様の心身を守る専門職として、ストレスに対するコーピングなどを身に付けて、患者様と接する際は患者様のことをしっかり看ることができると指します。

それでは、また来月に



2025年11月28日

看護部